

2011 年度

東京音楽大学・神戸女学院大学・昭和音楽大学共通科目

## ミュージック・コミュニケーション講座

<http://www.music-communication.com>

ミュージック・コミュニケーション講座Ⅰ・Ⅱ（東京音楽大学）

ミュージック・コミュニケーション講座（神戸女学院大学）

音楽コミュニケーション①・②（昭和音楽大学）

ミュージック・コミュニケーション講座は、将来、演奏家に限らず、どんな進路に進んでも、音楽大学で培ったものを活かしていけるための能力が身に付く、実践的な講座です。各界で活躍する講師を招き、社会で活躍するために必要なコミュニケーション力、社会性、リーダーシップ、そして柔軟な発想力などを磨きます。授業はインターネット・ビデオ会議システムにより3大学をリアルタイムで結び、各大学の学生が同時に同じ授業を受講します。単に授業を受けるのではなく、特別講師の先生方や他大学の学生との質疑応答やディスカッション、時には体を動かすワークショップなどを行い、「コミュニケーション」について実践的に学んでいきます。

また、夏には3大学の学生が東京音楽大学に集まり、合宿形式のセミナーを行います。英国を代表する名門音楽大学、ギルドホール音楽演劇学校で教鞭をとりながら、ヨーロッパ最大の芸術機関、バービカンセンターの教育プログラム部門を統括しているショーン・グレゴリー先生を招聘し、「音楽を生み出す」双方向的な音楽の場の作り出し方、そこに必要なスキルなどを学びます。

### 【教員・スタッフ】

東京音楽大学	神戸女学院大学 音楽学部	昭和音楽大学
武石 みどり 教授 村中 洋子 准教授 小島 レイリ（コーディネーター） 上條 浩史（副コーディネーター） 浅井 啓太（副コーディネーター） 高橋 英美（アシスタント）	津上 智実 教授 木村 <sup>さや</sup> 明 谷田 奈央 矢須田 麻美	武濤 京子 教授 赤木 舞 専任講師 布目 藍人（特別研究員） 佐藤 良子（研究員） 島田 和音（研究員）

### 【連携センター・ルーム】

各大学には連携センターや連携ルームが設置されています。授業に関する質問や問い合わせ等は、各センターまたはルームまでお願いします。

東京音楽大学 連携センター (K館4階401) TEL 03-3982-3513 FAX 03-3982-3227 tokyo-ondai@music-communication.com	神戸女学院大学 音楽学部 連携ルーム (音楽館29室) TEL&FAX 0798-51-8588 kobe-c@music-communication.com	昭和音楽大学 連携ルーム (コミュニケーションセンター内) TEL 044-953-9867 FAX 044-953-1311 showa@music-communication.com
---	--	---

【年間講座予定】

※授業は、18時30分～20時に行います。(夏期セミナー、シンポジウムを除く)

2011年 5月11日(水)	<b>「オリエンテーション」</b> 講座概要説明、教員・スタッフ紹介、2011年度公共ホール連携事業報告など
5月18日 (水)	<b>第1回 「新しい学び～コミュニケーションの場づくりとは～」</b> (荻宿 俊文 先生) この講義では、音楽コミュニケーション・リーダーの存在を学習科学からの視点を軸に考察します。社会構造の変化とコミュニケーションに基づく学習との関連性、基本的な知識として三つの学習観、コミュニケーションの場としてのアウトリーチの特質などについて学びながら、アウトリーチやワークショップの有効性と、多元的共生社会の担い手としての音楽コミュニケーション・リーダーの位置づけを考えていきます。
5月25日 (水)	<b>第2回 「実践コミュニケーション入門」</b> (絹川 友梨 先生) 初歩的な身体的ワークショップを通して、コミュニケーションを円滑にするためのアクションについて実践的に学びます。当日は動きやすい服装(ハイヒール厳禁!)でお越しください。
6月1日 (水)	<b>第3回 「音楽によるワークショップ」</b> (坪能 由紀子 先生) 現在、日本の学校教育、つまり幼稚園、小学校、中学校、高等学校では「音楽づくり」はどのように取り入れられているのでしょうか。その事例をご紹介しながら、参加者のみなさんと実際に音楽づくりを体験し、音楽づくりのリーダーとして必要なものは何かを一緒に考えていきたいと思えます。
7月6日(水) 又は10月5日(水)	第4回(予定の講師は震災の影響で来日不可となりました。現在、別の講師と調整中です)
8月31日(水) ～9月2日(金)	<b>「3大学合同夏期セミナー2011」@東京音楽大学</b> (ショーン・グレゴリー 先生他) 夏期セミナーでは、3大学の学生が東京音楽大学に集まり、演奏者が聴衆に「曲を聴かせる」のではなく、誰もが持っているクリエイティブな力を音楽によって引き出し、ともに「音楽を生み出す」双方向的な音楽の場を作り出すことを学びます。
10月19日 (水)	<b>第5回 「リーダーシップ・スキルアップ」</b> (絹川 友梨 先生) 第2回 「実践コミュニケーション入門」より、さらに「実践的」なワークショップを行うことで、グループを率いる際の「リーダーシップ」について学びを深め、スキルの向上を目指します。
11月30日 (水)	<b>第6回 「アーティストの公共的役割～これからの私たちにできること～」</b> (仲道 郁代 先生) 【音楽家が社会とつながることの意義と検証】ワークショップやアウトリーチなど、音楽家が社会とつながるための具体的な手法の紹介と、その音楽的表現の結びつきを検証します。
2012年 2月12日(日)	<b>3大学合同シンポジウム@昭和音楽大学</b>

## 【講師経歴（講座順）】

### 荻宿 俊文

青山学院大学社会情報学部教授

18年間の公立小学校教諭や、大東文化大学准教授、多摩美術大学非常勤講師、日本大学芸術学部非常勤講師などを経て、現職。専門は、学習コミュニティデザイン論、学習環境デザイン論、教育工学。

コミュニティ形成と学習環境デザインの場としてのワークショップを研究している。2008～2010年度文部科学省社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム「ワークショップデザイナー育成プログラム」取組代表。リアルコミュニケーションツール「Vitamin Happy（ビタハピ）」や「逆転時間ワークショップ」などでグッドデザイン賞やキッズデザイン賞を受賞。著書には「子どもたちの想像力を育む」（東大出版会）など多数。



### 絹川 友梨（第2回・第5回講師）

俳優／インプロバイザー（即興演劇パフォーマー）

玉川大学教育学部教育学科卒業後、オークランド大学院人文科学部演劇科修士課卒業（first class honors）。大学時代より演劇を始め、1996年に主演映画「Memory and Desire」（日本未公開）で、ストックホルム国際映画祭主演女優賞／ニュージーランド・ベスト外国人パフォーマー賞を受賞。

1994年より即興演劇の手法を用い、教育／ビジネス／福祉分野などで、コミュニケーション／プレゼンテーションスキルを指導。お茶の水女子大学ゲスト講師、桐朋学園短期大学非常勤講師。国内はもちろんのこと、アメリカ・ヨーロッパ・オセアニアなどでも活動を展開、アジア人でただ一人の国際的プロフェッショナル・インプロバイザーである。



### 坪能 由紀子

日本女子大学教授

東京藝術大学音楽学部楽理科卒。東京藝術大学、京都市立芸術大学、洗足学園音楽大学などでも教鞭をとっている。2004-2007年日本音楽教育学会会長。中央教育審議会芸術専門部会委員、小学校学習指導要領解音楽編作成協力者の他、文部科学省、文化庁、厚生労働省、東京都等でも子どもの音楽と教育に関わる仕事に携わってきた。

専門は音楽教育学で、子どもの創造的な音楽活動に関する研究のかたわら、国内外でワークショップ、講演、コンサートの企画等を行っている。イギリス、オランダ、ドイツ、マレーシア、タイ、中国、韓国等での音楽づくりワークショップ・講演・研究発表の他、日本現代音楽協会主催の童楽シリーズの企画、ISCM横浜大会の「こどもみらい」フェスティバルの企画、ロンドン・シンフォニエッタやギルドホールスクール等との教育プログラムの共同企画がある。



### ショーン・グレゴリー

ギルドホール音楽演劇学校音楽学部プロフェッショナル・デヴェロップメント学科長／

パービカンセンター&ギルドホール音楽演劇学校クリエイティブ・ラーニング・ディレクター

作曲家、演奏家、クリエイティブ・プロデューサーとして、英国のみならず国際的に活躍しており、各国のオーケストラ、オペラ団、劇場、ギャラリー、芸術教育機関等と提携し、あらゆる年齢や能力を持つ人々のための芸術プログラムを主宰している。ギルドホール音楽演劇学校音楽学部では作曲、音楽療法、ジャズ、リーダーシップなどの領域におけるカリキュラムやプログラムを統括する他、ヨーロッパ最大の



芸術機関であるバービカンセンター及びギルドホール音楽演劇学校両機関におけるクリエイティブ・ラーニング・ディレクターとして、バービカンセンターとギルドホールにおける音楽、演劇、美術、映画、舞踊、文学分野関連のクリエイティブ・ラーニング・プログラムを統括している。このプログラムは上記 2 機関のみならずレジデント・カンパニーであるロンドン交響楽団をはじめとした、国内外の芸術・教育機関との提携により行われるもので、世界に通用するクリエイティブ・ラーニング・プログラム開発及び実施を行っている。

## 仲道 郁代

ピアニスト

4 歳からピアノをはじめ、桐朋学園大学 1 年在学中に第 51 回日本音楽コンクール第 1 位を受賞。国内外での受賞を経て 1987 年ヨーロッパと日本で本格的にデビュー。人気、実力ともに日本を代表するピアニストとして注目を集めている。近年は「ショパン鍵盤のミステリー」、「モーツァルト・ピアノ・ソナタ全曲演奏会」、「ベートーヴェン～鍵盤の宇宙～」などのコンサートシリーズに加え、子どもたちに音楽との幸せな出会いをして欲しいとスタートした「光のこどもたち」など、魅力的な企画コンサートを行っている。ソニー・ミュージックジャパンインターナショナルと専属契約を結び多数の CD をリリース。テレビ番組、新聞、雑誌、ラジオなどメディアへの出演も多く、音楽の素晴らしさを広く深く伝える姿勢は多くの共感を集めている。



©Kiyotaka Saito

2003 年からは、地域社会の活性化と音楽文化の発展を目指し、大阪音楽大学特任教授、財団法人地域創造理事、桐朋学園大学特任教授としても、積極的に活動している。

オフィシャルホームページ <http://www.ikuyo-nakamichi.com>

### 【注意事項】

- ・ この講座ではディスカッションや質疑応答の時間が多くとられます。自分の意見を述べる、質問するなど積極的に参加してください。
- ・ 各授業後には、必ずアンケート用紙を提出してください。
- ・ 5 月 25 日及び 10 月 19 日の授業では体を動かすので、動きやすい服装で来るもしくは着替えを持参してください。(ハイヒール、ミニスカート厳禁)
- ・ 夏期セミナー前には、改めて参加者登録を行います。(東京音楽大学、昭和音楽大学のみ)

### 【参考文献&ウェブサイト】

- ・ 中野民夫『ワークショップ』(岩波新書、2001)
- ・ 茂木一司(編)『協同と表現のワークショップ』(東信堂、2010)
- ・ Wallace, David. *Reaching Out* (New York: McGraw-Hill, 2008)
- ・ ショーン・グレゴリー先生インタビュー  
[http://www.piano.or.jp/report/O2soc/london/2009/05/12\\_9932.html](http://www.piano.or.jp/report/O2soc/london/2009/05/12_9932.html)